安全 JAL 不当解雇撤回 安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No 030 号　2011.06.06
発行：JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先：航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-781
http://www.phenix.or.jp/ikkk/

100 年前の女たちのたたかいが今に生きる=====米田佐代子先生を招いて

雇用主が理不尽なことを言うなら我々も対抗しよう それが闘いの原点！

5 月 20 日、CCU の原告団は「平塚らいてうの家」館長である米田佐代子先生を招いて、「女たちは百年間何をたたかってきたか」をテーマにお話をして頂きました。客乗 OB も含めた参加者 55 名は、百年前の女たちのたたかいに感動し、今の解雇撤回のたたかいと重ね合わせ、歴史的意義のあるたたかいに確信を持つことができました。

「青鞜」創刊百周年を迎えて、彼女たちのメッセージは？

生きるとは行動すること　ただ呼吸することではない

～米田先生のお話の要旨～

◆女がまだ物を言えず人権も平等もなかった 1886 年、甲府市のある製糸工場の工女たちは、一日 18 時間働かされ、休憩も与えられず、水を飲むことも許されなかった。雇用主の理不尽な対応に対抗しようということで、日本最初のストライキをした。

◆1911 年、「青鞜（せいとう）」という雑誌を発刊した 20 代の女性たちは、「新しい女」と呼ばれ、避難攻撃の的になった。彼女らはただ、女だからというだけで差別されていることに納得できず自立を求めて、ひたすら前へ進んでいった。自分の力と信念だけを武器にたたかわなければならなかった。この頃日本は、女工たちが紡いだ絹を海外に売って、軍備を増強し戦争をして大国になっていった。それに対し抗議する社会主義運動がおこったが、政府はその人たちを抹殺するため、天皇暗殺を企てた（事実無根）という理由で 12 人の社会主義者を死刑にした。更に治安維持法が作られ、侵略戦争への道に進んだ。

◆平塚らいてうは、命を生む女として命を殺す戦争に反対するために、女性に「権利」が必要であると訴えた。戦後平和憲法が作られ民主主義の時代がきたが、生涯戦争に反対し、憲法を守り抜く訴えをしました。また、湯川秀樹や川端康成らとともに原水爆禁止を訴え続けた一人であった。

◆また女たちが学問を受けていたら、悲惨な戦争を食い止められた。だから女も騙されないよう学問を受け、自分で物を考え、自分の責任で行動しなければならない。子供を戦争に送り出すような愚かな母になってはいけないと。

◆そして、どんなにつまずいても、「信ずること」「正しいと思うこと」を諦めずまっすぐに生き、「自分で考え」「自立」することの大切さを訴えた。「わたしはわたしとして生きる。」「生きるとは行動すること。ただ呼吸をすることではない。」という言葉を残した。

正しいと思うことを諦めてはいけない
米田先生からのエール

皆さんは今新しいたたかいが始まったばかりです。皆さんが納得できないと言ってたたかっていることが大事。自分の尊厳をかけてたたかっている。それこそが人の生き方です。自分の利益の為ではなく、後の時代につないでいくためです。先にどのような困難があるかわかりませんが、正しいと思うことを諦めてはいけない。一人ひとりの信念と力を持って行動することが歴史を開いて行きます。「私は私である」というメッセージを活動の基本にしてください。私も皆さんに励まされるし、皆さんの応援団になります。

原告の人から寄せられた感想

先生がたたかえるのは根底にヒューマニズムがあるからだ。自分もそこに中心を置きたい。昨年 10 月にフライトをはずされてから 8 ヵ月たった。理不尽なことは許せない。不安もあるが後ろを見ないで行こうと思う。

自立していく上ではもっと勉強していかなくてはならないと思う。「騙されてはいけない」というのが今日一番残った言葉です。

経済的なこともあり原告になるか悩んだが、子供に何を伝えていこうかと考えた時、自分の意思を貫こうと思った。

らいてうの言葉に感動。やはり納得できないということです。納得できず引けないなら、前に進むしかない。女性は命を守るため本能のようなものを持っている。前に進んで行き、勝つまで頑張りたい。

今まで働いてこられたのは先輩たちが闘ってくれた結果。労働条件が下がっていく中、このまま辞めたら自分は後輩たちに何も残せない。仕事に子育てと両立してきた道は大変だった。会社でずっと差別されてきた。それでも働き続けてきたのはやはりこの仕事が好きだからだ。管理職に比べて自分が幸せなのは、下を向かず前を向いて歩いていけること。

100 年前の女性のたたかいに感動している。「私は私」として生きていかなくては、従うだけではまかり通らない。お話を聞いて心の整理をする良いきっかけになった。